

令和6年度 第1回学校運営協議会(記録)

日時 令和6年6月14日(金) 14:00~16:00 場所 大阪府立堺上高等学校 校長室

出席者 【委員】

副会長：那賀 典仁	堺市立福泉上小学校校長
委員：坂口 昌平	福泉上校区自治連合会副会長
委員：中尾 友彦	中尾食品工業株式会社代表取締役社長
委員：川島 強	堺市立上野芝中学校校長
委員：井上 安奈	堺上高等学校 PTA 会長

【事務局】

校長：大門 史朗	
教頭：大窪 成人	
事務長：下園 真人	
首席：北野 謙悟	(生徒指導部長)
教諭：菅 直美	(進路指導部長)
教諭：佐藤 修一	(教務部長)
教諭：木田 三平	(2年学年主任)
教諭：中川 剛	(1年学年主任)

## 内容

### 1. 開会のあいさつ

### 2. 報告

- 1) 学校現状報告、学校経営計画等の進捗状況について【校長】
- 2) 広報活動について【首席】
- 3) PTA 活動状況について【PTA 会長】
- 4) 観点別学習状況の評価及びデジタル採点、web 出願、教科書の選定等について【教務部長】
- 5) 生徒指導の現状について【生徒指導部長】  
生徒の登下校について
- 6) 進路状況等について【進路指導部長】
- 7) 3年の生徒状況について【3年学年主任】
- 8) 2年の生徒状況について【2年学年主任】
- 9) 1年の生徒状況について【1年学年主任】

### 3. 協議

#### 1) 本校への提言について

委員： ○今年度よりこの学校運営協議会に参加した。地元との連携を積極的に図ってもらえるよう期待する。学校周辺の登下校時通学路などで、地域の人とコミュニケーションを取り交通ルール遵守することを学校周辺の大人として育むことができると考えている。

委員： ○小学校も地域連携で、地元自治連合会の防災訓練参観を行っている。地域の人々との関係を強め子どもたちの防災意識を高めている。

○受検者数の減少については地域に根付いた学校を目ざしていくなかで、学校の魅力を学校 Web ページや部活動 Instagram で広める取り組みは評価できる。さらに中学生が「堺上高校に行きたい」と思うような取り組みや発信をもっと取り組んでいけたらよいのではと考える。

○四年制大学や短期大学への進学した生徒は、どのような目標をもって学校を選択したのかが見えやすくし、生徒が学校の魅力をどう感じていて、それを三年間でどう成長させていきたいのかという意見なども発信してはみてはどうか。

委員： ○目ざす学校像については、より具体的に生徒に迫った目標になっており、今後も様々な行事や探究の授業で生徒たちの挑戦する意欲が向上するよう取り組み、生徒たちの「楽しい」という気持ちを育んでほしい。転職やキャリアアップが当たり前の時代であるからこそ、意欲を持って新しいことに学び直してチャレンジできる「生きる力」を身につけてほしい。

委員： ○少子化や私学無償化による受検者数の減少は、捉え方によっては魅力ある学校づくりへのチャンスとも捉えることができる。従来通りのやり方ではなく新しいことに挑戦していく機会にもなり他の学校との差別化がうまくいけば広い分野で評価してもらえる。受験生がもつ堺上高校のイメージの一つ「楽しそうに感じる」ということだが、世の中ではデジタルでなんでもソフトの部分を簡単に手に入るが故に、体験型に対する価値が強くなっているという印象がある。面白いことや楽しいことを一緒に体験できる、楽しい仲間ができる、友人ができるみたいなことを推していけば良いと考える。そうすることで、「楽しそう」を細分化して、この学校独自の価値観がより見えてくると思う。

○生徒の遅刻や自転車登校について、周辺道路等の整備も大切だが、学校としても時間差登校を設定してみたり、早朝登校できた生徒に対して何か評価できる制度があれば登校時の生徒集中を解消できると思う。

委員： ○隣接する小学校に高校生がダンスの指導などの連携など高校生と小学生の繋がりを深める取り組み等ができれば、より地域に根付いた学校にもなることができる。

#### 4. 閉会のあいさつ【校長】